

「四方よし」の実現を目指し
25周年プロジェクト始動

with ichiman sustainability.
持続可能な社会を目指して

ICHIMAN INFORMATION



Photo

～今月の写真～

富士山にかかっているこのような雲を「笠雲」といいます。「笠雲がかかると雨になる」と言われており、雲から翌日の天気が予測されるようです。今年1年間を予測できる雲はありませんが、不動産コンサルティング会社として、皆さまの不動産経営が成功する1年になるよう、尽力したいと思います。 撮影：不動産経営ニュース読者様

「四方よし」の実現を目指し 25周年プロジェクト始動

来たる2024年9月28

日、当社は創立25周年の節目を迎えます。創業以来、四半世紀に渡り会社が続いてきているのは、お客様や取引会社様・スタッフに支えていただいたお陰だと心より感謝いたします。

企業の5年後の生存率は15%、10年後は6・3%、20年後で0・39%、30年後になると0・021%というデータがあります。つまり30年続く企業は1万社にわずか2社ということになりました。

このデータからも、企業が長く存続することは容易ではないことがわかります。当社がこれからも事業を継続していくためには、一層気を引き締めるとともに、変化の大きい時代に、ニーズに合わせて変化していくことが重要と考えます。また、お客様に加え、取引会社様やスタッフの真のニーズについても深く考えていくことも忘れてはいけ

ないと思っております。

そこで、この度、これからの市萬のあり方について考える「25周年プロジェクト」を社内に取り上げました。

このプロジェクトはお客様・取引会社様・スタッフ・当社の「四方よし」の実現に向け、社内外のプロジェクトメンバーが、会社としてどのような価値を関係者に提供できるのか検討し、社員一丸となって実行していくものです。これからも、皆様とともに未来に向けて、しっかりと取り組んでいく所存です。ぜひ、当社の今後にご期待ください。

株式会社市萬
代表取締役

西島 昭



with ichiman sustainability.

サステナブル
市萬が掲げる持続可能な社会とは、笑顔がずっとずっと続くまち。
不動産が抱える多様な問題を解決し、優良化する取り組みを通じて、
オーナー様だけでなく地域の皆様と、世代を超えて安心して暮らせる地域社会を実現します。



私たち市萬が目指す世界を表現したイラストを作成しました。「私たちに関わるすべての不動産を優良資産に」を企業理念とし、不動産オーナーはもちろん、当社管理物件の入居者様や地域に暮らすすべての人がイキイキと、そして、幸せに暮らせる社会を実現したい、そんな思いが込められています。ここに描かれているのは、実際に私たちがお手伝いした事例です。これからも、たくさんの笑顔と幸せを作っていきたいと思います。

Case 1 》緑に溶け込むカラーリングで景観を魅力的に

建物周辺の木々から緑（グリーンカラー）をテーマカラーとし、外壁カラーに採用。建物独自の個性を引き立たせつつ、街の風景とも美しく調和するカラーリングによって、景観の魅力向上に繋がりました。



Case 2 》街に貢献する不動産活用を実現

駅から離れた商店街の一角にパン屋を誘致し、オーナー様の「街を活性化させる不動産活用をしたい」を実現。今では、ベビーカーを押した若いお母さんやご年配の方などが集う人気のパン屋となりました。



Case 3 》洗練された建築デザインを現代風に再生

独創的なデザインで地域のシンボルとしても目を引く築40年超のマンション。設備不具合や老朽化の課題を抱えていましたが、その魅力的な建築を長く活かしたいとの想いで現代風にリノベーション再生。



Case 4 》環境にも収支にも「エコ」な木造アパート再生

昭和51年築の木造アパートを木の風合いを活かして「和モダン」に改修。大きな初期投資を伴う建て替えではなく、既存建物を活かす長期活用を選択し、収支はもちろん環境にもやさしい「エコ」なアパート再生を実現。

